

# Photo ふなばし



東の空が白み始めるころ、ブリの収穫が行われる



スズギの水揚げ



矢作豆腐店（海神1丁目）



混雑のピークを迎えたJR船橋駅

MOVE

JR船橋駅南口再開発事業  
実現に向けて大きな一歩

とくしゅう  
PART 1

自然を生かした、素朴で夢のある  
アンデルセン公園が今秋オープン

とくしゅう  
PART 2

ふなばし朝の風景



ふなばし海浜公園から望む朝日

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- サークル通信
- WE ARE IN FUNABASHI

まちなかの文化財／ふなばしの民話  
ズームアップ／ペットインタビュー

vol. 72

広報ふなばし写真版

MOVE

JR船橋駅南口再開発事業

# 実現に向けて大きな一歩



JR船橋駅南口再開発事業は、京成船橋駅との間の約3.5ヘクタールを5つの地区に分けて整備するもので、第一地区は、駅正面の約0.9ヘクタールです

長年の懸案となっていたJR船橋駅南口第一地区の再開発事業で、再開発ビルの建築計画案について69人の権利者全員から基本的合意が得られ、大きな一歩を踏み出しました。

JR船橋駅南口再開発事業は、昭和42年と53年の過去2回、事業に着手しようとしたが、実現には至りませんでした。その後、昭和57年に南口約3.5ヘクタールを5地区に分ける整備構想を打ち出し、63年に第一地区の都市計画を決定。以後、権利者の皆さんと協議を重ねてきました。

この第一地区は、駅正面の約0.9ヘクタール。ここに建設される地上14階、地下3階建てのビルは、ショッピングモール型の専門店街となる商業ゾーン、公共公益施設ゾーン、オフィスゾーンなどから構成される複合施設で、平成11年度完成を目指しています。

これにより、駅前広場も広がり、連続立体交差事業が進められている京成本線の京成船橋駅とJR船橋駅がペデストリアンデッキ(歩行者専用道路)で連絡されるなど、JR船橋駅南口が、首都圏の中核都市・船橋市の表玄関にふさわしく生まれ変わります。



記者会見で、第一地区の権利者全員から基本的な合意が得られたことを発表する大橋和夫市長

再開発ビルが建設される第一地区。54万都市の表玄関にふさわしいまちづくりが進められます

